



- 前日準備 5時間 (買い出し、環境整備、板書、解剖セットの準備など)
- 授業時間 1時間40分
- 事後処理 3時間 (解剖セットの汚れ・油とり、調理道具の最終洗浄・片付け)

それでも、費やした時間を超える価値があります。『教科書に書いてないから不要』という薄い意見は無視!』

※写真に残せませんでしたが、アジが手に入らず、トビウオで対応したり、地元漁師さんに頼んで、生徒が見たことがないホシザメ、巨大ハモ、海ボラ (雌の卵は、坊勢からすみの原料)、坊勢サバ、サワラなど2000円で用意して頂きました。多くは見せるだけで終わったため、海洋教育パイオニア助成金は使っておりません。(アサリ、ニシ貝、タイ3匹、ヒイカなどの一部のみを計上し、調理しました。)

☞サメのインパクトは大きく、軟骨魚類の特有のからだやサメ肌を触らせました。